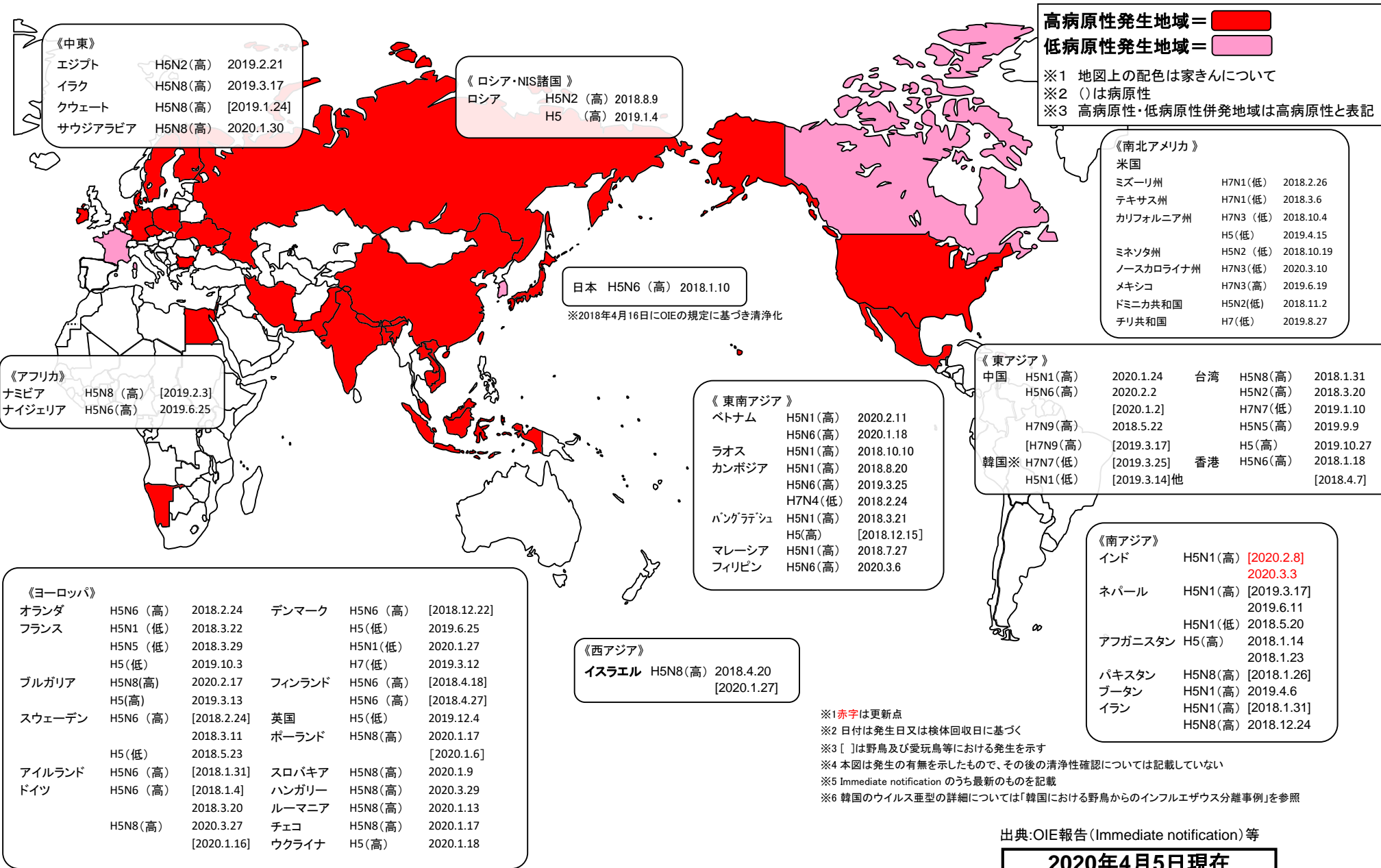


家きんの高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2018年以降)



※1 赤字は更新点
 ※2 日付は発生日又は検体回収日に基づく
 ※3 []は野鳥及び愛玩鳥等における発生を示す
 ※4 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない
 ※5 Immediate notification のうち最新のものを記載
 ※6 韓国のウイルス亜型の詳細については「韓国における野鳥からのインフルエンザウイルス分離事例」を参照

出典:OIE報告(Immediate notification)等

2020年4月5日現在